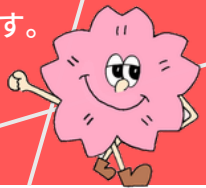


情報活用能力を通じて 子どもの主体性を引き出す！

情報活用能力の育成を通して、子どもが主体的に学び続ける授業づくりに取り組んでいます。
子どもたちが疑問をもち、情報を集めて整理し、伝え合う姿や、
学習を自分で調整している姿、その学びの過程をレポートしていきます！



4年生 社会

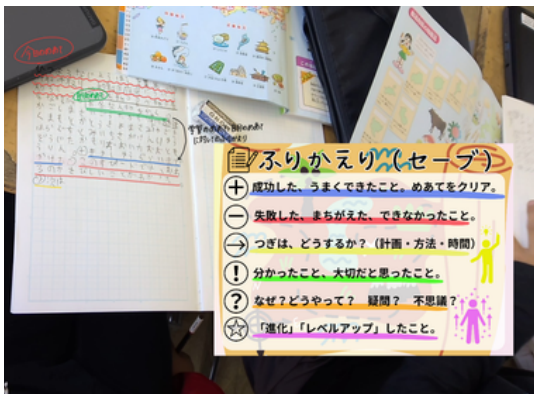
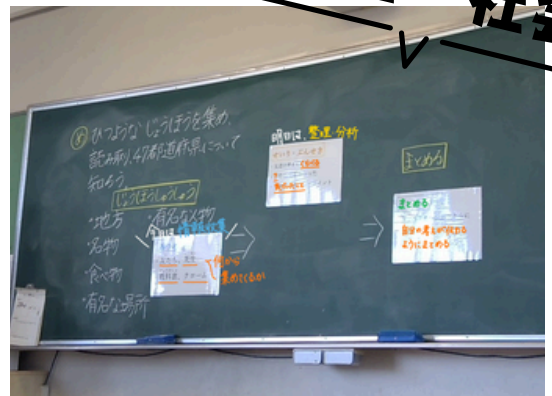
授業の様子

「必要な情報を集め、読み取り、47都道府県について知ろう」というめあてで学習が進められていました。

はじめに47都道府県の歌を歌いながら、楽しく導入されていました。そのあと、「覚えるためにはどんな情報があればいい？」という問いかけに対して、「名物」「食べ物」「有名な場所」「地方」など、子どもたちからどんどん意見が出てきていました。子どもたち自身が「どうやって覚えるか」を考えることで、学びに向かう姿勢が自然と生まれているように感じました。

また、「大阪だけ調べるのはいいい？」という問いに対して、「だめ、今日めあては、ほかの都道府県のことも知る必要があるから」とめあてを意識して学んでいる様子も見られました。

活動中も、「めあて確認してね。達成できそう？」という声かけがあり、子どもたちは学びの方向を確かめながら取り組んでいました。時間配分についても子どもたちに考えさせていて、自分で学びを調整している姿が印象的でした。



ふりかえり

振り返りでは、

+できたこと

-うまくいかなかったこと

→次どうするか

!・**?**気づきや疑問

という視点をもとに、子どもたちは今日の学習を振り返っていました。

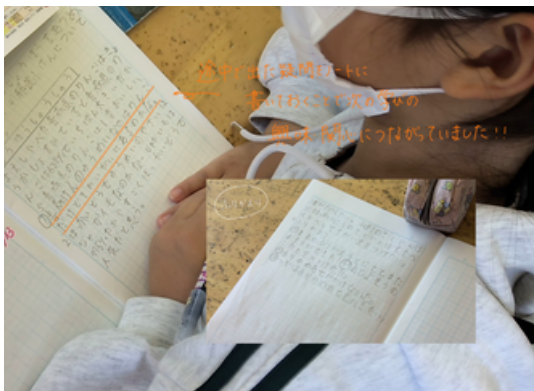
また、今日のめあてをもとに、自分なりのめあてを考え、それに対して振り返りを行っている様子も見られました。

特に「**→次どうするか**」を大切にしている、自分の学びを見直し、次につなげようとする姿が見られました。

すてきな姿

情報収集を進める中で出てきた「？」をノートに書き留め、「次はこれを調べてみたい」と考えていました！

学びの中で生まれた疑問が、次の探究への興味・関心につながっている様子がとてもすてきでした。



教科書の資料を見て「これは何だろう」と疑問をもった児童が、自ら端末を使って検索し、情報を調べていました！

分からないことをそのままにせず、自分で調べて解決しようとする主体的な学びにつながっていました。